

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

平成27年10月8日

文部科学大臣殿

名古屋工業大学学長
鵜飼 裕之 印

下記の課程を職業実践力育成プログラムに申請します。

記

①学校名:	名古屋工業大学	②所在地:	愛知県名古屋市昭和区御器所町				
③課程名:	3D-CAD設計技術者育成講座	④正規課程/履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	平成19年9月19日		
⑥責任者:	中村 隆(教授)伊藤 智啓(准教授)	⑦定員:	5名	⑧期間:	1年		
⑨申請する課程の目的・概要:	CATIA V5・材料力学・有限要素法を学び、単に図面を書くトレーサーではなく、製品の機能や製造工程を理解しモデルの構造解析ができる設計技術者の育成を目指す。						
⑩4テーマへの該当の有無	非正規労働者のキャリアアップ	⑪履修資格:	高校卒業程度の数学力があり、設計技術の習得を希望するもの				
⑫対象とする職業の種類:	CADオペレーター・設計技術者						
⑬身に付けることのできる能力:	CADオペレーション・構造機構解析		強度構造解析・デザイン的思考力				
⑭教育課程:	材料力学および有限要素法を通じてものづくりの根幹を学ぶとともに、プロダクトデザインの観点から、使いやすい機械や道具の設計技術を習得させる。その過程において実際に存在する機械や道具を題材として演習を行うことによって、より実践的な知識・技術を習得させる。						
⑮修了要件(修了授業時数等):	出席状況および評価認定試験の成績で評価						
⑯修了時に付与される学位・資格等:	本講座履修証明						
⑰総授業時数:	129.5 時間	⑱要件該当授業時数:	76.5	該当要件	2,3	⑲要件該当授業時数/総授業時数:	59%
⑳成績評価の方法:	評価認定試験及び出席状況						
㉑自己点検・評価の方法:	講習開始前及び修了後のアンケートにより、講座独自の自己点検・評価委員会(担当教員・協力企業及びアドバイザーで構成)において、講習の難易度、講座への意見・要望を聴取し、翌年以降の講習に生かす。						
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了生に対し定期的に電話による追跡調査を行う。 修了生の職場に調査員を派遣し、本人及び上司等にヒヤリングを行う。						
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 教育課程・内容・評価方法・一層のスキルアップのため、企業・個人事業主を含めた自己点検・評価委員会を設置。アンケート、定期的な電話による追跡調査の結果を含め、上記委員会で検討 (自己点検・評価) 上記委員会における議事録および追跡調査の結果をデータ化し、協力企業及び修了生アドバイザーからの講座への意見・要望を聴取し、翌年以降の講習に生かす。						
㉔社会人の受講しやすい工夫:	講習開始時間を考慮(18:30からの開講) PC室24時間常時開放 社会人アドバイザー(本講座修了生)の常駐日を設定(土曜日) 本講座自習用ビデオの作成						
㉕ホームページ:	(URL)http://www.nitech.ac.jp/o_gakumu/nitech-3dcad/						

事務担当者名:	岩佐 大輔	所属部署:	名古屋工業大学次世代自動車工学教育研究センター
連絡先:	(電話番号)052-735-5240 (E-mail) iwasa.daisuke@nitech.ac.jp		

*パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。